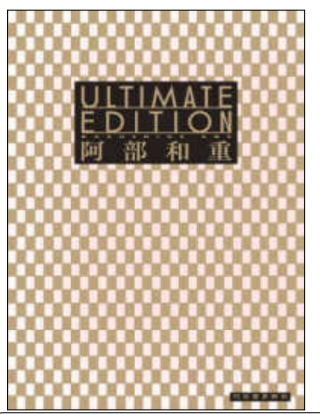




「君といた日の続き」 辻堂 ゆめ
娘を亡くし妻と離婚した僕に、未来を生きる資格があるのだろうか。終わりがあると知りながら過ごす、僕と君のひと夏物語。コロナ禍のリモートワークを言い訳に自宅に引きこもるばかりのある日、僕は、ずぶ濡れの女の子を拾った。1980年代からタイムスリップしてきたらしい彼女は、僕の大切な人の命を奪った連続少女誘拐事件に関係しているのか……。その時の僕は、全ての過去の意味を知るよしもなかった。その答えは、今の僕が持っていたんだ。



「嘘つきなふたり」 武田 綾乃
親元から離れ寮で生活する19歳・朝日光は、小学校の同級生だった長谷川琴葉と偶然再会する。当時の担任が川で溺死したニュースが飛び込んできて動揺していると、琴葉が「私が先生を殺したの」と告白、そのうえ一緒に逃げてほしいと言う。しかし光は先生を殺した犯人は琴葉ではないと確信していた。なぜなら、互いに秘密を抱えながら、ふたりは小学校の修学旅行先だった京都に向かう。友人の突然の告白によって“正解を選ぶだけの人生”からの逃避行がはじまる。

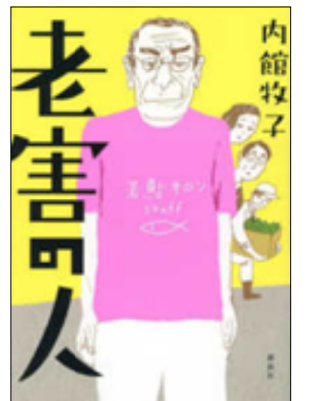


「Ultimate Edition」 阿部 和重
暴動、陰謀論、暗殺計画、反転する日常。すべて実在の楽曲名をタイトルに掲げ、奇妙に響き合う至高の16篇。

「幾千年の声を聞く」 青羽 悠
世界の中心に聳える巨大な“木”。人々は枝の上に家を建て、各地から人が集まり、やがて国ができ、文明が生まれた。だが、他国から“木”のもとを訪れた学者は気がつく。「こんなものは本来、地球に存在しえない」この“木”はいったい何なのか？宗教の長となった少女、天文学に全てを捧げる青年、人生に絶望する配達員の男。運命の奔流に巻き込まれた人々の苦悩と情熱が積み重なり、やがて壮大な謎が解き明かされていく。これは力ではなく、知性で世界を変えようとした人たちの、幾千年の物語



「菜と嘘の季節」 米澤 穂信
高校で図書委員をつとめる堀川次郎と松倉詩門。ふたりは図書室の返却本の中に、トリカブトの花の菜を見つける。校舎裏でトリカブトが栽培されているのも発見し、そしてついには被害者が……。その菜は自分のものだ」と嘘をついて近づいてきた女子・瀬野とともに、ふたりは真相を追う。殺意の奥にある思いが心を揺さぶる、青春ミステリ長編。



「老害の人」 内館 牧子
定年、終活、人生のあとしまつ... 自分、親のこと、いずれは誰もが直面する「老後」。「最近の若い人は……」というぼやきが今や「これだから『老害』は」となってしまった時代。



「光のところにいてね」一穂 ミチ
古びた団地の片隅で、彼女と出会った。彼女と私は、なにかもかが違った。着るものも食べるものも住む世界も。でもなぜか、彼女が笑うと、私も笑顔になれた。彼女が泣くと、私も悲しくなった。彼女に惹かれたその日から、残酷な現実も平気だと思えた。ずっと一緒にはいられないと分かっているが、一瞬の幸せが、永遠となることを祈った。どうして彼女しかダメなんだろう。どうして彼女とじゃないと、私は幸せじゃないんだろう……。



「月の立つ林で」 青山美智子
長年勤めた病院を辞めた元看護師、売れないながらも夢を諦めきれない芸人、娘や妻との関係の変化に寂しさを抱える二輪自動車整備士、親から離れて早く自立したいと願う女子高生、仕事が順調になるにつれ家族とのバランスに悩むアクセサリー作家。つまづいてばかりの日常の中、それぞれが耳にしたのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト『ツキない話』だった。月に関する語り心で心を寄せながら、彼ら自身も彼らの思いも満ち欠けを繰り返す、新しくてかけがえのない毎日を紡いでいく。最後に仕掛けられた驚きの事実と読後に気づく見えない繋がりが胸を打つ心震える

「食いしんぼう魔女の優しい時間」 三萩せんや

黒木理沙は魔女である。三百年余りの人生で、得意になったことといえばお料理と人助け。今日は、一人で不安そうにしている女子大生に思わず声をかけた。魔女バレしないように手助けするのはちょっと大変だけれど、大好きな街の、誰かのためになるならば...！
そんな優しい魔女は長い人生を楽しみながら、今日もこの街を見つめているのです。



「銀河鉄道の父」 門井 慶喜

『銀河鉄道の夜』『注文の多い料理店』など数多くの傑作を残してきた宮沢賢治。清貧なイメージで知られる彼だが、その父・政次郎の目を通して語られる彼はひと味違う。家業の質屋は継ぎたがらず、「本を買いたい」「製鉛工場をつくってみたい」など理由をつけては、政次郎に金を無心する始末。普通の父親なら、愛想を尽かしてしまうところ。しかし、そんなドラ息子で賢治でも、政次郎は愛想を尽かさず、ただ見守り続ける。その裏には、厳しくも優しい“父の愛”があった。やがて、賢治は作家としての活動を始めていくことになるが。



「女子大小路の名探偵」 秦 建日子

栄の女子大小路にあるパー・タバンスで、のんびりとバイト店長を務めていた大夏。ところがそこに大事件が転がり込む！連続女児殺害事件の容疑者になってしまった大夏は、絶縁状態だった姉の美桜に助けを求めたのだが...ホステス、弁護士、大学教授、店の常連客、そして担当刑事、あらゆるネットワークを駆使した先に見えてきた驚愕の真相とは？真犯人が仕掛けた罠に、大逆転の計画で立ち向かう痛快ミステリー！



「此の世の果ての殺人」 荒木 あかね
小惑星「テロス」が日本に衝突することが発表され、世界は大混乱に陥った。そんなパニックをよそに、小春は淡々とひとり太宰府で自動車の教習を受け続けている。小さな夢を叶えるために。年末、ある教習車のトランクを開けると、滅多刺しにされた女性の死体を発見する。教官で元刑事のイサガワとともに、地球最後の謎解きを始めよう。



「ぺてん師と空気男と美少年」 西尾 維新
私立指輪学園で暗躍する美少年探偵団。正規メンバーは団長・双頭院学、副団長にして生徒会長・咲口長広、番長だが料理上手の袋井満、学園一的美脚を誇る足利颯太、美術の天才・指輪創作だ。縁あって彼らと行動を共にする瞳島眉美は、ある日とんでもない落とし物を拾ってしまう。それは探偵団をライバル校に誘う『謎』だった。

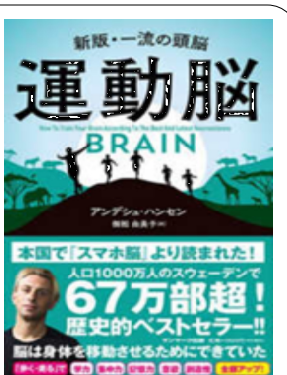
「気遣いを恋と勘違いする男、優しさを愛と勘違いする女」 関口美奈子

- 第1章 お互いに「勘違い」が終わらない男と女、3つのすれ違い
- 第2章 パートナーに選んではいけない男女、パートナーにふさわしい男女は“見た目”でわかる！
- 第3章 相手の本性と嘘を見抜くにはSNSやLINE、普段の言動のココを見る！
- 第4章 相手との相性がわかる7つの質問
- 第5章 運命の相手を見極め交際・結婚を決断するための9つの方法



「運動脳 新版・一流の頭脳」 ハンセン、アンデシュ

脳は身体を移動させるためにできていた。「歩く・走る」で学力、集中力、記憶力、意欲、創造性、全部アップ！有酸素運動で脳細胞が増える！海馬が大きくなる！



「幸福の足袋」 細谷 龍平
主人公のウィリー（ウィリアム・グリフィス）が福井藩から招待されてやって来た経緯と福井での経験を辿るノンフィクション小説。創作のサブプロットとエピソードを含めてウィリーの心の内面に分け入り、福井でのクリスマスパーティーを象徴する「足袋」をめぐるストーリーを通して、真の「幸福」とは何かを探る。



「メンタルモンスターになる」 長友 佑都
日本サッカー史上初めて4大会連続ワールドカップ出場を目指す、長友佑都。2010年南アフリカ、2014年ブラジル、2018年ロシア、そして2022年カタールと12年間にわたり、日本代表のレギュラーとして戦い続けてきた著者だからこそ語れる、予選・本戦を含めた苦闘の歴史と舞台裏。さらに、35歳でトップレベルを維持し続けている秘訣。批判を肥やしにしてエネルギーに変える、著者ならではのメンタルコントロール術など、激動のサッカー人生を振り返る、集大成の一冊！